

29 クルメサヨリ

(サヨリ科)

兵庫県ランク:A

Hyporhamphus intermedius

環境省ランク:NT

種の概要

全長12 cm程度。下あごが頭の長さよりも長く、その下面は黒色をしている。比較的大きな河川の汽水域、汽水性の湖沼、内湾に生息する。表層を泳いで動物プランクトンを捕食する。春から夏にかけてアマモなどの水生植物に産卵する。国内では本州と九州の北部に局所的に分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では2002年に掛保川の河口で確認されている。県内の生息河川、及び生息個体数は極めて限られる。

保護上の留意点

本種はアマモなどの水生植物に産卵し、汽水域で生活史の大半を送る。河口の汽水域から浅海のアマモ場にかけては、臨海工業地帯の建設等により、日本で最も開発が進み、改変された場所である。今後、残された汽水・浅海・干潟などの保護や、再創造が望まれる。

県内分布

姫路市

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	○
學術性	極限	○
	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励